

# こおりやま 市議会だより



がくとくとおんぶちゃん

第178号 - 平成 28 年 9 月定例会 -

湯浅讓二 ふるさと郡山への想いによせて



郡山市制施行90周年・合併50年記念委嘱作品初演  
「湯浅讓二 ふるさと郡山への想いによせて」



郡山市

発行日：平成 28(2016)年 11 月 1 日  
発行：郡山市議会  
編集：こおりやま市議会だより編集委員会  
〒963-8601 郡山市朝日一丁目 23 番 7 号  
TEL024-924-2521 FAX024-938-2810  
メールアドレス  
soumugiji@city.koriyama.fukushima.jp

## 主な掲載内容

9月定例会のあらまし、常任委員会の審査状況	2頁
特別委員会の活動状況	3頁
平成27年度決算特別委員会	4頁
議案等の議決結果	5頁
9月定例会市政一般質問	6~12頁
特別委員会講演会、議員研修会	13頁
12月定例会開催予定	14頁

# 平成28年9月定例会

## (仮称)西田学園義務教育学校整備事業を含む 補正予算など議案26件、議案4件を可決、 平成27年度決算等議案34件を認定

※5頁参照

### 定例会のあらまし

9月定例会を、9月1日から30日までの30日間にわたり開催しました。

初日には、会期の決定、諸般の報告に続き、「安全・安心なまちづくり特別委員会」及び「公有資産活用検討特別委員会」からの中間報告を受け、その後、市長が提出議案の提案理由について述べました。

6日から9日までは、13人の議員が市政一般質問を行いました。  
12日と13日は、4つの常任委員会で、付託された議案23件と請願4件を慎重に審査し、総務財政常任委員会の議案審査においては、一般会計補正予算中、フットボールセンター整備事業費に関する附帯決議案が提出され、附帯決議を付すことと決しました。

20日の本会議では、各常任委員会から審査結果の報告を

受け、賛否が分かれた議案等について、3人の議員からそれぞれ賛成・反対の討論がありました。

その後、採決の結果「郡山市立小学校及び中学校条例の一部を改正する条例」を含む議案21件を全会一致で、(仮称)西田学園義務教育学校整備事業を含む一般会計補正予算など議案2件を賛成多数で可決したほか、請願については1件を採択、1件を一部採択、2件を不採択としました。

また、子どもの貧困対策の推進と強化を求める意見書などの議案案2件を賛成多数で可決しました。

さらに、議員提案として提出された北朝鮮の地下核実験に抗議する決議など議案2件を全会一致で可決しました。  
その後、安全・安心なまちづくり特別委員会委員長及び公有資産活用検討特別委員会委員長からそれぞれ委員長報告がなされ、付託案件につい

て、全会一致で可決しました。  
27日から30日は、決算特別委員会を開催し、追加提出された平成27年度決算認定等議案を審査しました。

最終日となる30日の本会議では、平成27年度決算認定等議案34件を全会一致で可決及び認定した後、追加提出された公平委員会委員などの人事案件3件を全会一致で同意し、全日程を終了しました。

### 常任委員会の審査状況

審査内容の中から主なものをお知らせします。

#### 総務財政

**問** 平成29年7月からの国や他自治体との情報連携により、マイナンバーカードの利用は、今後、どのように変わるのか。  
**答** 税・国保等の申請・手続において、所得証明書等の添付が不要となる。

**問** (仮称)郡山市熱海多目的交流施設整備事業に関し、観光交流等エリアの活用方法は。  
**答** 観光情報の発信とともに、本市の特産品や熱海町の地場産品の販売エリアとしての活用を考えている。

**問** 平成29年6月開業予定の(仮称)開成山屋内水泳場について、子ども達の体力向上、健康増進や競技力向上を図るため、限定的に使用料を無料としては。  
**答** 開業年度内における義務教育以下の子どもの使用料を無料化して考えである。

#### 建設水道

**問** 道路維持費の増額補正の理由は。  
**答** 8月末現在の予算執行率が、97%となったことから、今後の新たな補修等の必要性に備え、増額するものである。

**問** 東日本大震災以降の道路等維持管理の考え方は。  
**答** 幹線道路を中心とした空洞調査や路面性状調査等の予防保全対策を含めた長寿命化への対応と、市民要望等に基づく応急的対応の両面から進めていく考えである。

#### 環境経済

**問** 農業経営体育成事業費補助金の補助対象者は。  
**答** 各地域の中核を担っている農業者、農業経営体、認定農業者等が対象である。

**問** 農業経営体育成事業費補助金の補助額の上限は。  
**答** 一事業あたり、補助対象事業費が1千万円で、補助額300万円が上限である。

#### 文教福祉

**問** 介護ロボット導入促進事業補助金により導入される介護ロボットの、各事業者の需要に合ったものとなるのか。  
**答** 事業者が、介護ロボット導入事業の計画段階において、それぞれに合ったロボットを選定している。

**問** (仮称)西田学園義務教育学校は、施設の一部を地域へ開放する計画であるが、防犯面での管理方法は。  
**答** 都市部等の学校開放においては、地域で学校開放運営協議会を立ち上げ、その中で運用している事例があることから、これらを参考に検討していく。

## 特別委員会の活動状況

### 提言書を提出

本市議会では、現在「安全・安心なまちづくり特別委員会」及び「公有資産活用検討特別委員会」を設置し、それぞれ協議を行っていますが、これまでの協議結果等を踏まえ、9月20日に市へ提言書を提出しました。



品川市長へ提言書を手渡す今村議長ら

### 安全・安心なまちづくり

誰も自殺に追い込まれることのないまちづくりの実現に向けた課題整理のため、本市の取組み状況を確認するとともに、他自治体の先進事例などの調査、関係団体等からの意見聴取、さらには専門的な識見を有する講師を招いての

講演会の開催など、自殺の現状及び今後求められる取組みについて協議を重ねました。

これらの協議や、講演会で得た知見を踏まえ、総合的な自殺対策を推進するために市が取り組むべき事項を「誰も自殺に追い込まれることのないまちづくりに向けた提言書」としてまとめました。

提言書の主な項目は次のとおりです。

- 計画に基づく施策の展開について
- 調査研究の取組みについて
- 市民等の理解増進への取組みについて
- 人材確保等への取組みについて
- 心の健康保持、自殺発生回避に向けた取組みについて
- 医療提供の体制整備への取組みについて
- 自殺未遂者等への支援に関する取組みについて
- 自殺者の親族等への支援に関する取組みについて
- 民間団体への支援及び連携等に関する取組みについて
- 市当局における体制強化について

### 公有資産活用検討

公有資産の利活用に向けた課題把握のため、地域の利用実態や要望等、現状を確認するとともに、専門的な識見を有する講師を招いて講演会を開催し、公有資産の有効活用や公共施設の最適なあり方について協議を重ねてきました。

これらの協議や、講演会で得た知見を踏まえ、審議項目の中でも特に課題性が高く、現段階で早期に対応すべき事項を「公有資産の有効活用に向けた提言書」としてまとめました。

提言書の主な項目は次のとおりです。

- 旧豊田浄水場貯水池跡地の暫定的な利用について
- 公共施設駐車場について
- 貸し施設について
- 公有資産活用における市民意見の反映等について
- 小学校の統合を見据えた取組みについて

### 審議項目に関する協議等

7月5日開催の委員会において、自殺予防対策に係る講

演会について協議し、7月12日、7月25日、8月25日、9月1日開催の委員会において、当局への提言について協議を重ね、種々意見を交わしました。

### 関係団体からの意見聴取



自殺予防に関する関係団体からの意見聴取

7月12日開催の委員会において、郡山市セーフコミュニティ推進協議会自殺予防対策委員会に所属する団体の方々を参考人として招致し、それぞれの立場での自殺予防対策への取組みや考え等について意見をいただき、種々質疑を交わしました。

今後、自殺に関する条例提案を視野に入れ、審議を進めます。

### 公有資産活用検討

7月5日、7月19日、7月25日、8月9日、8月19日、8月25日、9月1日開催の委員会において、当局からの説明及び種々の質疑、それらを含めた審議項目の協議を行いました。

なお、当局から説明があった項目は、次のとおりです。

- 小・中学校の空き教室の利活用について
- 公共施設駐車場の増設について
- 公園設備の更新について
- 貸し施設の現状について
- 公民館の利用について
- PPP手法等の活用について
- （本市から県への）貸与地の有償貸付について
- 広告事業について（広告・ネーミングライツ）
- 郡山駅周辺の再開発について
- 市民意見の反映について

今後、公有資産の有効活用について、先進事例の調査なども踏まえながら、審議を進めます。

※13頁に特別委員会講演会について掲載しています。

## 平成27年度 決算特別委員会

平成27年度決算特別委員会を、9月27日から30日までの4日間の日程で開催し、35名の委員が、平成27年度予算が適正かつ効果的に執行されていたか、健全な財政運営がなされているかなどについて審査しました。

審査においては、生活困窮者自立支援事業費、養育支援訪問事業費、街路築造費、空調設備整備事業費、土地区画整理事業、水道事業等について、種々質疑が交わされました。

また、郡山駅西口駅前広場、郡山駅東口自由通路、行健小学校屋内運動場、富田東小学校児童クラブ、旧金透記念館、中央公民館金透分室、市役所本庁舎の電気自動車用急速充電器設置箇所の現地調査も行いました。

提出された平成27年度決算認定等議案34件については原案のとおり可決及び認定すべきものと決しました。



現地調査(郡山駅東口自由通路用地)



書類審査



現地調査(富田東小学校第2・3児童クラブ)



現地調査(行健小学校屋内運動場)

### 決算特別委員会の審査状況

審査の中から主なものをお知らせします。

**問** 養育支援訪問事業の評価と課題は。

**答** 出産後間もない家庭への家事や育児の支援を行う産後ヘルパー派遣事業、子育ての悩み等への専門的支援を行う育児家庭訪問事業とも計画どおり進捗し、育児負担の軽減や児童虐待の未然防止が図られたが、核家族世帯の増加等家族形態の変化により利用者の要望が多様化していることなどが課題として考えられる。

**問** 小中学校空調設備整備事業の効果の検証は。

**答** 空調の使用に当たっては、「小中学校空調設備(エアコン)使用ガイドライン」を策定し、電気代の抑制に努めるとともに、児童生徒の環境学習・教育へも活用するなど、効率的・効果的な運用に努めている。

今後、ガイドラインに基づき、空調設備の稼動日数、電気使用量等のデータを蓄積し、子ども達の教育環境の向上や省エネ効果などについて、総合的に検証していく。

**問** 郡山駅東口整備事業の進

行に併せ、郡山駅東口の広場及び駐車場の拡張や、駅東西地区間のアクセス道路の整備等、その必要性及び可能性について調査検討を行ったのか。

**答** 平成27年度に実施した「郡山駅東口周辺開発可能性調査」により、郡山駅東口周辺地域については、広域的な医療、教育、文化施設等の立地誘導や利便性の高い都市型居住の推進、道路等の都市基盤の充実、低未利用地を活用した高度な土地利用の推進、交通結節機能の改善等の課題が明らかになったところである。

### 決算とは

市長は毎年度、一般会計・特別会計や公営企業会計など、各会計決算の認定等議案を法令に基づき監査委員の意見を付けて議会に提出します。

議会は、予算目的に沿って効率的、効果的に執行されたかどうかを、認定または不認定とします。

本市議会では、9月定例会で決算特別委員会を設置し、審査します。

決算特別委員会は、議長及び議会選出の監査委員を除いた35名の議員で構成されています。

## 議案等の議決結果

賛成は「○」、反対は「×」、会派内で賛否が分かれた場合等は「※」と表記しています。

件名		議決結果	会派の賛否(創風会は、議長を除く。)							
			創風会	新政会	郡山市議会公明党	社会民主党	日本共産党郡山市議団	虹とみどりの会	無所属の会	
			18人	7人	4人	3人	3人	1人	1人	
補正予算	平成 28 年度郡山市一般会計 (第 3 号)	原案可決	○	○	○	×	×	×	○	
	平成 28 年度郡山市国民健康保険特別会計 (第 2 号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	
	平成 28 年度郡山市後期高齢者医療特別会計 (第 1 号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	
	平成 28 年度郡山市介護保険特別会計 (第 1 号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	
	平成 28 年度郡山市工業団地開発事業特別会計 (第 1 号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	
	平成 28 年度郡山市熱海温泉事業特別会計 (第 1 号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	
	平成 28 年度郡山市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計 (第 1 号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	
	平成 28 年度郡山市財産区特別会計 (第 1 号) (多田野財産区、河内財産区、舟津財産区、舘財産区、浜路財産区、横沢財産区、中野財産区、後田財産区)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	
市長提出議案	条例 一部改正	郡山市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
		郡山市税条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
		郡山市国民健康保険税条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
		郡山市商工業振興条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
		郡山市立小学校及び中学校条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
		郡山市体育施設条例	原案可決	○	○	○	○	×	×	○
	工事請負契約 変更	郡山市中央図書館耐震補強外工事	可決	○	○	○	○	○	○	○
郡山西部第一工業団地 (第 1 期工区) 造成工事		可決	○	○	○	○	○	○	○	
人事案件	郡山市公平委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	
	郡山市多田野財産区管理委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	
	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること	同意	○	○	○	○	○	○	○	
決算	平成 27 年度郡山市一般会計歳入歳出決算認定等 34 件	可決・認定	○	○	○	○	○	○	○	
請願	政治分野への男女共同参画推進法の制定を求める請願	採択	※1	○	○	○	○	○	○	
	臨時国会で T P P 協定を批准しないことを求める請願	不採択	×	×	×	○	○	○	×	
	8,000Bq/kg 以下除去土壌の再生利用方針の撤回を国に求める請願	不採択	×	×	×	○	○	○	×	
	子どもの貧困対策の推進と強化を求める請願 ※2	一部採択	○	○	○	○	×	×	×	
委員会提出議案	政治分野への男女共同参画推進法の制定を求める意見書	原案可決	※1	○	○	○	○	○	○	
	子どもの貧困対策の推進と強化を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出議案	次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	
	北朝鮮の地下核実験に抗議する決議	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	

※1 賛成1、反対17

※2 子どもの貧困対策の推進と強化を求める請願については、請願事項を「一部採択・一部不採択」とすることに対する賛否

■なお、各議員の賛否は市議会ウェブページを御覧ください。

平成28年9月定例会

# 市政一般質問

13人の議員が市政について質問しました

それぞれのQRコードから質問者の録画中継が御覧いただけます。



質問議員順に、3項目を掲載しています。  
掲載の質問・答弁内容は要約していますので、  
詳細は会議録または議会中継を御覧ください。

5月1日から9月30日までの間、クールビズで実施しました。



更なる「郡山ブランド」の発掘について

**問** 本市農業の更なる振興のため、首都圏等の大消費地のほか、海外への輸出も見越した認知度アップのためのPR手法や、更なる「ブランド産品」の開発・発掘が必要と考

えるが見解は。

**答** 官民一体となって新たなブランド製品の開発に取り組み、本年度からは、復興庁と連携し、「郡山ブランド向上に向けた魅力連携プロジェクト」により新たな郡山ブランドの発掘に努めている。郡山ブランドの認知度アップについては、これまでの取り組みに加え、今後、提供情報の多言語化等、輸出や東京オリンピック・パラリンピックに向け、インバウンド（訪日外国人旅行）などの海外市場を視野に入れた需要の掘り起こしやPRに努める。

日和田駅の利便性の向上について

**問** 本市とJR東日本との懇談会開催のタイミングや頻度、さらに、日和田駅の利便性向上のため必要不可欠である駅の東西を結ぶ歩道橋の設置については、具体的なテーマとして話し合いが行われたか。

**答** 懇談会は、平成25年度から毎年1回開催している。8月5日開催の懇談会において、「日和田駅の東西を結ぶ歩道橋設置」もテーマの一つとしたが、JR東日本としては、現時点では、乗降3千人以上の駅へのエレベーター

設置によるバリアフリー化を進めていきたいとの考えであり、日和田駅の東西を結ぶ歩道橋については、粘り強く要望していく。

工事入札等の条件における優遇措置について

**問** 女性技術者や技能者を積極的に雇用するため努力している企業を、工事入札等の条件において優遇する手立てはあるのか。

**答** 国において、インフラ等の品質確保とその担い手確保の実現のため、平成26年6月に「公共工事品質確保促進法」「入札契約適正化法」「建設

掲載以外の質問項目

- 道路・歩道等の除草管理について
- 認可保育所の入園予約制について



創風会  
佐藤 栄作議員  
通告時間:30分

オランダの事前合宿誘致について

問 本市が事前合宿誘致を指している競技は。

答 また、他のホストタウンである流山市、高知県、佐賀県とは連携しているのか。  
事前キャンプ地が決定し



新政会  
石川 義和議員  
通告時間:30分

本市の将来像について

問 本市は、「東日本大震災からの復旧、復興」「郡山市総合戦略」「第五次総合計画第九次実施計画」の達成が当面の目標であるが、今後、人口減少環境下で、希望、目標

た競技以外のうち、本市施設が国際競技連盟基準に適合しているバドミントン、バスケットボール、野球、ソフトボールの誘致を目指し、今後、交渉等を本格化していく。

また、他のホストタウンとの連携については、誘致活動等について相違があるため、現在は連携していないが、今後、必要に応じ情報交換等を行っていく。

デマンド交通\*等の実証実験について

問 新興住宅地の実施場所として、富田町が挙げられているが、運行計画内容及び具体

的な場所、現在の希望者数は。答 昨年、富田町のバス路線がない地域において話し合いを行っており、本年8月に設立された富田町正副区長会・老人クラブを始めとする地域住民による「富田地域公共交通協議会」において、具体的な運行ルートや停車場等を検討している。

運行は、市が購入する10人乗りの福祉車両を活用し、住民代表、交通事業者、道路管理者、国・県・市の行政機関で構成する「郡山市総合都市交通戦略協議会」が実施するものであり、バス路線がない

富田行政センターの機能充実と整備について

問 富田地区からの要望や状況等を踏まえ、駐車場が充実した公民館、行政センター一体の複合施設を整備すべきと考えが見解は。  
答 富田行政センターは、本

国道49号西側の富田西部地区エリアの6町内会、約4千650世帯を体験場所と考えている希望者数は、現時点では把握していないが、高齢者などより多くの市民に参加していただくこととしている。

安積開拓の原点「出磬山」の整備について

問 安積開拓の歴史上、無二の遺産である「出磬山」の遺跡等を保存するとともに、多くの観光客が訪れる開成公園のような場所にするため、国が所有、管理している土地を取得し、観光地として整備しては。  
答 「出磬山」の石碑等がある敷地については、防衛省が所有する国の行政財産であり、現在、陸上自衛隊郡山駐屯地高森訓練場として、偵察・監視訓練等を行っている施設であるため、原則として一般者の立ち入りを禁止している。

掲載以外の質問項目  
○介護職不足に対する本市の取組みについて

また、現在、当該訓練場の除染に伴い発生した除去土壌等を一時保管していることから、現在のところ、観光地として整備することは困難な状況にある。



日本共産党郡山市議員  
おかだ てつお  
岡田 哲夫議員  
通告時間:30分

**問** 各種公的文書へのマイナンバー活用の課題について

**答** 本年1月からマイナンバーカード（個人番号カード）の交付が開始され、社会保障、税をはじめとする各種手続において、マイナンバーを記入することとなるが、ナンバー

を記入しない場合、不利益となることはあるのか。  
**答** 各種手続における申請書等へのマイナンバーの記載については、本市の窓口等において、法的な義務であること、市民に丁寧に説明しながら案内している。

**問** 介護保険料の滞納者数について

昨年8月から一定所得以上の利用者に2割負担が導入され、介護保険料の負担の増加も問題となっているが、65歳以上で、介護保険料を滞納している人数はどの程度なのか、また、そのうち給付制限や資産の差押えとなった対象者の人数は。

料の滞納者数は、実人数で2千28名となっており、滞納が2年以上経過したことにより、自己負担割合を1割から3割とする給付制限の対象者は42名、差押えの対象者は83名となっている。

**問** 臨時職員の採用、退職の実績について

公立保育所において臨時職員が多い現状は、一刻も早く改善する必要がある喫緊の課題であるが、過去3年間の公立保育所における臨時職員の採用と退職の状況は。

実績として、臨時職員は新規の採用と更新者とを合わせ、平成25年4月1日で125名、平成26年4月1日で132名、昨年4月1日で125名雇用しており、退職の状況は、平成25年度末で41名、平成26年度末で31名、昨年度末で23名となっている。

**掲載以外の質問項目**

- 障がい者施設の問題について
- 義務教育学校について
- 地域の諸課題への対応について



郡山市議会公明党  
やまね さとる  
山根 悟議員  
通告時間:30分

**問** ユニバーサルデザイン施設の充実に向けて

パラリンピックの事前キャンプ誘致に向けた取組みを行うことで、ユニバーサルデザインの施設がより一層充実してることが、本市にとつてのレガシー※となると考え

るが見解は。

**答** 昨年度、「郡山総合体育館」及び「開成山陸上競技場」がパラリンピック事前キャンプ国際競技連盟基準適合施設としての確認を受け、「東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ候補地ガイド」により公表されたが、今後は障がい者のスポーツ参加や障がい者への理解の向上を図る施策を展開し、共生社会の実現に向けた「新たなレガシー」を創造していく。

※レガシー…遺産、受け継いだもの。



**問** 夜間中学※設置に向けた取組みについて

国が、全都道府県に少なくとも1つの設置を目指す夜間中学について見解は。

また、今後の需要を考えるに当たり、県と考え方を共有していくべきでは。

**問** 番塚の改修計画について

谷田川の農業用取水せきである番塚の整備事業について、長寿命化に向け行っている機能診断等の結果と、地元受益者との協議状況は。

また、今後の事業の流れは、調査地区として国の採択

市民へお知らせをした。今後国による法整備等の状況を踏まえ、夜間中学設置に向け、県教育委員会と連携を図っていく。

※夜間中学：何らかの事情で学期に義務教育の機会を十分に得られなかった人を対象とした、公立中学校の夜間学級。

を受け昨年度に実施した機能診断等で、経年劣化により改修工事が必要と診断されたため、本年3月24日に、地元受益者に対する内容説明と意見交換を行った。

本年度は、地元受益者と協議を行いながら、改修計画及び基本設計を作成し、来年度には国による本事業の審査・採択を受け、平成30年度の改修工事着手に向け進めていく。

**掲載以外の質問項目**

- 本市の水道事業について
- 豪雨対策について
- ふるさと納税について
- 性的少数者について



社会民主党  
やえがしき さよこ  
八重樫 小代子 議員  
通告時間:30分

ラジオ体操の普及について

問 本年8月12日に開催されたラジオ体操において、体操指導者から、参加者の9割が間違つて体操していたことが指摘されたが、体操指導員等を配置し、より効果上がる

よう正確なラジオ体操を普及していくべきでは。

答 ロコモ※予防推進事業として取り組んだ「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」は、開成山陸上競技場において開催され、2千500名が参加した。

この開催にあたり、株式会社かんぽ生命保険からCD100枚とDVD10枚の寄贈があり、これらを公民館や高齢者団体等に配布・貸出するとともに、体操指導員等の協力のもと、正しいラジオ体操の周知及び啓発を図っていく。

※ロコモ(運動器症候群・ロコモティブ・シンドロームの略)：筋肉、骨、関節、軟骨



日本共産党郡山市議団  
たかはし よしはる  
高橋 善治 議員  
通告時間:30分

自主避難者への支援継続について

問 自主避難者への住宅供与終了の決定に伴い、県が新たに打ち出した総合的な支援策について、自主避難者の声をどう捉えているのか。また、現行制度による住宅

支援策の継続を求め、もしできない場合、県の支援策への上乘せ支援を行うべきでは。

答 本市からの避難者の意向は、避難先での生活継続を希望する世帯が多く、住宅確保や子どもの就学等の課題があることから、今後も個々の状況に応じた相談対応や支援が必要であると考えている。

また、自主避難者への住宅供与終了決定に際し、県に原則継続を要望しており、現在も県市長会等を通じ、避難者の状況に即した支援策を実施するよう要望している。このような中、県からは、

椎間板といった運動器のいずれか、あるいは複数に障害が起これ、「立つ」「歩く」といった機能が低下している状態のことで、進行すると介護が必要になるリスクが高くなる。

(仮称)西田学園義務教育学校の教育方針や内容について

問 当該学校は、学区弾力化、特認校制度指定などあるが、湖南小中学校、明健小中学校と比較し、教育方針や内容について何が異なるのか。

答 小中一貫校と義務教育学校が目指す教育効果は、学びのつながりによる学習効果の高まりや、小中学生同士の結びつきなど、大部分は共通するものと認識している。義務教育学校は、小・中学

校の区別がない一つの学校であり、9年間の学習のつながりがより明確であることや、柔軟な教育計画編成が認められることにより、小学校段階からの英語教育や教科担任制など様々な工夫が可能になることから、2020年度の学習指導要領改訂を見据え、より高い教育効果が期待できる。

除去土壌等の積込場への搬入について

問 除去土壌等の積込場造成工事の完了はいつなのか。

答 また、市内の搬入想定土量が搬入されるスケジュールは、積込場造成工事について

問 郡山市公契約条例による賃金の下限額設定について

答 これまでも県内の原子炉すべての廃炉を求めてきており、県、県議会等も同様に対応しているが、県外の原発再稼働については、原発を有する自治体でそれぞれ異なる事情があるため、各自自治体及び住民等が判断すべきと考える。

問 当該条例において賃金の下限額設定をせず、労働環境報告書提出により賃金向上効果が見込めるのか。

また、対象労働者が当該報告書の内容を知る機会を設けるべきと考えるが見解は。

は、富久山クリーンセンター・東山霊園運動場・河内埋立処分場の3か所は、年内中の整備完了を、また、大規模な造成を伴う西田埋立処分場は、本年度内完了を目指していく。

また、搬入スケジュールについては、環境省が行う除去土壌等の輸送量の本市への配分を注視しながら、一般住宅等除染と同様、空間放射線量の比較的高かった区域等から、随時発注していく。

掲載以外の質問項目  
○公契約条例について  
○市民総参加のまちづくりについて

問 賃金水準の向上効果については、当該報告書により、労働関係法令の遵守状況や職種ごとの最低賃金の把握に努め、その推移などについて、公契約審議会において審議の後、提言を受け、今後の施策に反映させる。

また、当該報告書の内容については、透明性を確保するため、対象労働者へは、可能な範囲で開示していく。

掲載以外の質問項目  
○水道料金等徴収業務の包括委託契約について  
○フットボールセンターについて



創風会  
やまぐちのぶお  
山口 信雄議員  
通告時間:30分

**問** 観光コースのパッケージ化及び観光案内人の育成について

**答** 猪苗代湖、安積疏水、安積開拓を結ぶストーリー「未来を拓いた『一本の水路』」の日本遺産認定を受け、今後、広く観光客を呼びするために、観光コースのパッケージ等交通

機関や旅行者と取組みを強化するとともに、観光案内人の育成も図るべきでは。

**答** 「日本遺産プロモーション協議会」において、今年度は、情報発信・人材育成事業として、「周遊観光ルート開発・ボランティアガイド等育成事業」を実施し、ボランティアガイドや語り部の育成を通じて「おもてなし体制の強化」に取り組む。

特に、周遊観光ルート開発は、専門事業者に委託し、協議会メンバー等と協議し、パッケージツアーにも利用でき、地域の活性化に資する魅力ある観光コースを本年度中に構築していく。

る観光コースを本年度中に構築していく。

**問** 学校給食を通じた地場産品への不安と誤解の解消に向けたコミュニケーションについて

**答** 保護者や学校関係者、生産者が、地場産物への不安を引き起こしている原因の確認や生産者の努力、想いについて、地産地消や食育の観点からコミュニケーションを持つ場を設ける必要があるのでは。

今後、保護者が参加している各学校の給食試食会等に生産者を招き、生産者の努力や安全・安心に向けての取組み等の情報も共有できるように、

コミュニケーションの場を設けたい。

**問** 埋設されている除染土の配置図について

**答** 他市においては、除染土が配置図と異なった場所に埋設され、住宅建設後、住宅の下にあることが判明し問題となったが、本市での対応は。

本市では、除去土壌等の地下保管場所に杭を設置し、所有者に図面を渡している。「放射性物質汚染対処特措法」等の規定等に、図面についての明確な記載がないため、業者により様式が異なるが、市に提出の図面と概ね同一である。

ある。

また、本市実施の一般住宅等除染説明会の際に送付しているQ&Aの中で、建物新築等による土地利用変更の際の市への相談を周知し、さらに除染完了の立会いでも、保管場所地の第三者への売却の際の市への連絡を、所有者等へ説明している。

**掲載以外の質問項目**

- 郡山南拠点地区への新駅設置について
- 郡山市における教育施設の整備について
- 荒井北井土地画整理事業について



創風会  
はまつ かずこ  
浜津 和子議員  
通告時間:30分

**問** 最近の予算提案について

**答** 当初予算編成の考え方について見解は。

また、(仮称)西田学園義務教育学校・(仮称)郡山市熱海町多目的交流施設等を、どのような年度計画のもとに

今回の補正予算に組み込んだのか。

**答** 当初予算編成は、「地方自治法」に基づき、一会計年度における活動に要する経費と必要な財源の見通しを立て行っており、計数が確定せず当初予算に計上できない場合でも、後年度に実施予定の各種事業の把握に努め、今後の財政需要を十分に考慮している。

(仮称)西田学園義務教育学校整備事業は平成30年4月開校に向け、平成26年12月定例会に基本計画策定業務委託費、昨年度当初予算に敷地造成・建物の実施設計業務委託

費、本年度当初予算に敷地造成工事費を計上、(仮称)郡山市熱海町多目的交流施設整備事業は、平成30年4月しゅん工に向け、平成26年12月定例会に基本構想策定業務委託費、昨年6月定例会に基本設計・実施設計委託費を計上し、実施設計等が完了したことから、本定例会にそれぞれの事業費を計上した。

**問** 県費負担教職員の人事権の中核市への移譲について

**答** 国・県の考え方や動き、さらに人事権移譲の阻害要因等は。

国においては、昨年「中

核市等に権限を移譲する方向で検討し、小規模市町村を含めた関係者の理解を得て、結論が得られたものから実施する」と閣議決定し、県教育委員会においては、「市町村間で教育水準に格差が生じる懸念があり、広域の人事交流が可能となる仕組みが必要」との考えである。

人事権移譲については、教職員の給与負担に伴う財源確保等と併せ、広域での人事調整の仕組みづくりが大きな課題となっている。

**阿武隈川堤防整備と徳定川放水路の樋門築造について**

**問** 阿武隈川堤防整備と徳定川放水路の樋門築造との整合性は図られているか、また、その着工年度・完成年度は。

**答** 阿武隈川堤防整備と徳定川放水路の樋門築造は国土交通省が実施するため、構造及び施行時期についての整合は図られていると認識しており、樋門築造は平成32年度の阿武隈川堤防整備完成予定までに実施していくと聞いている。

**掲載以外の質問項目**

- 市長の市政執行の考えについて
- 福祉施策について
- 樹木管理について



創風会  
かわまえ みつのり  
川前 光徳 議員  
通告時間:30分

フットボールセンターの建設計画について

問 もっと競技者が使いやすい場所に、サッカー競技の将来の発展を見据えた計画的な施設建設をすべきでは。

答 フットボールセンターは、県サッカー協会や熱海町地域



創風会  
しんたに よしとも  
塩田 義智 議員  
通告時間:30分

人材育成について

問 理想のまちづくりを進めるためには、職員を育てることが必要であると考えられているが、

答 平成26年4月に人材育成室を設置し、OJT※を基本

振興協議会等からの要望等を踏まえ、昨年度に策定した「(仮称)熱海町駅前市有地整備事業基本構想」に基づき、「スポーツ温泉コンベンションの中核施設」「交流人口の増加、観光やまちづくりに寄与する施設」など、本市全体の振興を図ることを目的に熱海町に設置するものである。

また、公益財団法人日本サッカー協会の基本方針に基づく「都道府県フットボールセンター」を整備することは、既存施設との相互利用により、効果的な活用が図られ、本市サッカーの競技力向上を始め、

とした各種研修の充実に努めてきた。

特に、職員の視野を広げるため、国への職員派遣、県、いわき市、東邦銀行等との相互人事交流や大学院への派遣による専門的知識の習得や人的ネットワークの構築等を図ってきたところである。

職員の自発的な活動の促進としては、「チャレンジ市役所『新発想』研究塾」「こおりやまカイゼン運動」の立ち上げ、自主的な学習支援としては、通信講座や大学等修学費用を助成し、職員のスキルアップの支援に努めてきた。

幅広いスポーツの振興に寄与するものと認識している。

なお、6月定例会での審議を踏まえ、事業内容の見直しを行うっており、平成30年3月しゅん工を目指していく。

指名競争入札の業者の選定について

問 指名競争入札の割合が高いが、恣意的に業者を選定していないと証明するための手立てはあるのか。

答 建設工事における指名競争入札の指名は、「郡山市工事等の請負契約に係る指名競争入札参加者の資格審査及び指名等に関する要綱」に基づ

今後、社会経済情勢の変化に柔軟かつ弾力的に対応できる人材の育成と、自ら学ぶ意欲や向上心を醸成する組織風土の構築に努めていく。

※OJT…仕事を通しての人材育成。

大型商業施設誘致の進捗よく状況について

問 郡山南インターチェンジ周辺の大型商業施設誘致の進捗よく状況は。

答 これまで、法令等の課題整理や先進地視察、事業者との意見交換、県の関係部局との協議等、立地に向けた条件整備に努めてきたが、事業者が想定する商圏人口の問題に

き決定しており、透明性確保のため、全ての入札案件の指名状況や入札結果を市政情報センターやウェブサイトで公表している。

さらに、「公共工事の入札契約適正化法」に基づき、第三者機関である「郡山市入札監視委員会」を設置し、全ての入札結果や制限付一般競争入札の参加条件、指名競争入札の指名状況及び随意契約の妥当性などを議論いただき、審議内容についても、ウェブサイトで公表し、契約の手続等の透明性を確保しながら、公正に入札を実施している。

「郡山市補助金等交付規則」の改正について

問 補助金の過大交付による補助金返還命令を規定するため、類型区別を盛り込んだ補助金交付規則改正を直ちに行うべきでは。

答 概算払いの補助金の額の確定による資金の精算については、郡山市財務規則第78条に基づき行っているが、規則をより明確にする観点から、補助金交付規則第18条の改正について、今後検討していく。

掲載以外の質問項目

○市民の安全・安心の観点からのインフラ整備について

○子どもの遊び場と公園整備について

○三種田町の諸課題について

○稲作農業の生産コスト削減について

また、農家への支援策につ

稲作農業の生産コスト削減について

問 稲作農業の生産コスト削減に向けた取組み状況は。

また、農家への支援策につ

加え、当該周辺地区は、商業施設立地に関して様々な法令の規制があるなど、難易度の高い課題を有している。

一方、消費者の価値観の変化により、観光誘客を図る動きもあることから、今後は、開発事業者のビジネスプランに応じた条件整備を検討するとともに、引き続き関係機関との協議を重ね、誘致に向け取り組んでいく。

問 掲載以外の質問項目

○市民の安全・安心の観点からのインフラ整備について

○子どもの遊び場と公園整備について

○三種田町の諸課題について

掲載以外の質問項目

○市民の安全・安心の観点からのインフラ整備について

○子どもの遊び場と公園整備について

○三種田町の諸課題について

また、農家への支援策につ

稲作農業の生産コスト削減について

また、農家への支援策につ



郡山市議会公明党

おしまひろこ 小島 寛子 議員

通告時間:30分



子育て世代包括支援センターについて

子育て世代包括支援センターの先進地は、専門職を配置し、一貫した相談・支援体制に取り組んでいるが、本市子育て世代包括支援センターは、どのような内容で、いつ、

どこで実施するのか。本年7月からニコニコ子ども館において、母子健康手帳交付時に妊婦等への面接を行い、継続支援が必要な妊婦のスクリーニングなど、子育て世代包括支援センター事業実施に向けた取組みを行っている。

今後、ニコニコ子ども館を全市統括支援拠点と位置づけ、母子保健コーディネーターの配置を含め、子育て世代包括支援センターの満たすべき基本要件など具体的な実施方法を検討し、妊娠期から子育て期にわたる、切れ目ない

支援体制の充実を図り、来年4月の本格実施を目指す。「(仮称)メディカルヒルズ郡山基本構想」への取組みについて

本市は、県農業試験場跡地等に、「(仮称)メディカルヒルズ郡山基本構想」を立てているが、実現に向けての取組みは。

当該地区は、郡山富田駅の開業など、新たな産業の集積を図る上でポテンシャルの高いエリアであると考え、基本構想を取りまとめた。また、ふくしま医療機器開発支援センターを核とした医

療機器関連産業の集積に向け必要な機能などの意見聴取のため、県を始め、医療や医療機器関連団体など、14団体で構成する「郡山市医療機器関連産業集積懇談会」を、8月25日に設置した。

今後は、基本構想や懇談会の意見を基に、同センターの機能を最大限に活用し、関連産業集積に向けた取組みを、応急仮設住宅の入居者に十分配慮しながら検討していく。

公園緑地について

整備以上に公園の利活用が住民福祉の向上に欠かせない

い段階に入っているが、公園緑地の整備計画見直しを含め、公園緑地の利活用等の方向性を示すよう、本市の公園緑地のあり方を検討する必要があると考えるが見解は。

少子高齢化社会、地域ごとの住民ニーズに合わせた整備が必要であると認識していることから、今後、「(仮称)公園のあり方研究会」や「郡山市公園愛護協力会協議会」の中で、協議検討していく。

掲載以外の質問項目

- 障がい者施策について
専門職の活用について



創風会

ひろし 裕 議員

通告時間:30分



道徳教育における学校の役割について

今までの「道徳の時間」が、「特別の教科 道徳」に変われることを踏まえ、今後学校における道徳教育が担う役割について見解は。

「特別の教科 道徳」で

は、子どもたち自身が考え、議論するような授業についても提案されている。

それらを通して、道徳性を確実に身に付けさせ、子どもたち自身が、失敗や成功を繰り返しながら道徳的な実践力を育むことが重要であり、将来社会の中で様々な困難を乗り越えながら、思いやりを持ち、明るくたくましく生活できる資質を養うことが、道徳教育における学校の役割であると考える。

今後の水道料金のあり方について

水道事業について、更に

厳しくなるであろう経営環境に対応するため、しっかりとした財政計画のもと事業運営すべきと考えるが、水道料金のあり方について見解は。

将来の水需要を見通した施設規模の適正化による経営合理化等を計画的に進めるとともに、健全な事業運営に努め、さらには社会環境の変化を見据えた経営改善に取り組んでいる。

水道料金については、これらの経営改善・効率化を前提とした適正な原価を基礎とし、社会的要請と市民生活の安定に配慮しつつ、使用者の公正

観光資源開発につながる農産物販売促進等について

本市の地域資源を活かし、観光資源開発につながる農産物の販売促進、商品開発を更に推進すべきと考えるが見解は。

「郡山市総合戦略」の産業活性化施策の一つに、農業と観光の有機的な連携を図ることを位置付けており、観光資源開発につながる農産物販

売促進に、多くの方が先進的に取り組んでいる。

本年度は、「郡山ブランド向上に向けた魅力連携プロジェクト」により、観光資源となる「食」と、観光集客につながる「場」のコーディネート等を行っていく。

また、東京オリンピック・パラリンピックを視野に、観光資源となり得る国内外に向けた農産物の販売促進と商品開発を、市民や各種団体と連携し推進していく。

掲載以外の質問項目

- 企業誘致と経済の活性化について

## 特別委員会講演会

現在、本市議会に設置している二つの特別委員会において、講演会を開催しました。

講演会では、多数の市民が講師の話に耳を傾け熱心にメモをとる姿がありました。

### 安全・安心なまちづくり

現在審議中の自殺予防対策について、基本的な考え方について学び、より深い知見を得た上で審議を進めるため、8月26日に講演会を開催しました。



安全・安心なまちづくり特別委員会講演会

講師には、自殺予防対策について専門的な識見を有するNPO法人自殺対策支援センター ライフリンク代表の清水康之氏を迎え、「誰も自殺に追い込まれることのない社

会へく地域のつながりが命を守る」と題して講演をいただき、自殺の現状及び今後求められる取組み等について理解を深めました。

### 公有資産活用検討

現在審議中の「公有資産の有効かつ最適な利活用」について、現状や課題を共有し、より深い知見を得た上で審議を進めるため、8月19日に講演会を開催しました。



公有資産活用検討特別委員会講演会

講師には、公有資産の活用について専門的な識見を有する株式会社日本政策投資銀行 地域企画部課長の遠藤健氏を迎え、「公共施設マネジメントの必要性と公有資産活用型PPPについて」と題して講演をいただき、持続可能な公有資産の利活用について理解を深めました。

## 議員研修会

新公会計制度導入後、初めての決算審査を行うにあたり、適正かつ的確な審査に向け、更なる知見を深めるため、8月26日に「新公会計制度（財務諸表の見方）について」の議員研修会を開催しました。



議員研修会

### 市議会ウェブページ

郡山市ウェブサイト内に市議会のページを掲載しておりますので、ぜひ御覧ください。



市議会ウェブページ QRコード

郡山市ウェブサイトアドレス  
<http://www.city.koriyama.fukushima.jp/>

郡山市議会

検索



## 請願書・陳情書の提出

請願・陳情は、市議会に対して、いつでも、どなたでも行うことができます。

### 提出方法について

請願書・陳情書は次の要領で提出してください。

- (1) 請願には、1人以上の市議会議員の紹介が必要です。紹介議員の署名又は記名、押印を受けてください。
- (2) 一つの場合につき、一つの請願書（陳情書）が必要になります。
- (3) 請願書・陳情書は、A4判の用紙に横書きし、できる限り邦文（点字を含む）で提出してください。

なお、陳情には、紹介議員は必要ありません。

やむを得ず外国語を用いる場合は、訳文も同時に提出してください。

- (4) 文書の記載内容
- 提出年月日
- 請願者（陳情者）の住所（法人の場合には、その所在地）、氏名（法人の場合には、その名称及び代表者名）を記載し、押印
- 請願（陳情）の件名
- 請願（陳情）の趣旨
- 請願（陳情）の事項

### 受付について

請願・陳情は、議会開会中、閉会中を問わず常時受け付けています。

ただし、定例会中に審議を希望する請願の受付は、市政一般質問初日の午後5時までは、これを過ぎると次の定例会での審議となります。

また、定例会中に議員へ陳情書の写しの配付を希望する場合は陳情の受付は、開会日翌日の午後5時までです。

開会日翌日が土・日曜日及び祝日の場合は、翌日以降の直近の開庁日になります。

### 取扱について

請願は、関係する委員会に付託され、審査し、その内容が妥当と認められるものは採択の上、市の事務に関するものは市長等へ送付し、処理の経過及び結果の報告を求めます。

また、国・県等の事務に関するものは意見書を提出し、陳情は、写し（陳情文書表）を各議員に配付します。

- (5) 提出部数は1部です。なお、道路などに関するものは、現地の略図を添付してください。

# 12月定例会開催予定

12月定例会は、12月2日から開催の予定です。  
 なお、正式な日程は、定例会初日に決定するため、変更となる場合があります。

12月 2日〔金〕開会	10日〔土〕休会
3日〔土〕休会	11日〔日〕休会
4日〔日〕休会	12日〔月〕市政一般質問
5日〔月〕議案調査(休会) ※陳情締切	13日〔火〕常任委員会
6日〔火〕議案調査(休会)	14日〔水〕常任委員会
7日〔水〕市政一般質問 ※請願締切	15日〔木〕事務整理日(休会)
8日〔木〕市政一般質問	16日〔金〕閉会
9日〔金〕市政一般質問	

- ・開会日、市政一般質問日、閉会日の様子をインターネットで生中継いたします。
- ・生中継は、各行政センター、緑ヶ丘ふれあいセンター、ビッグアイ6階の市民プラザ(月曜日を除く)でも御覧になれます。
- ・録画中継は、生中継の4日後(土・日曜日及び祝日を除く)から御覧いただけます。



市議会中継QRコード

## 議会の傍聴

議会の傍聴は、市政の運営を知り、市民の皆さんが選んだ議員の活動状況などを理解する一つの方法です。議会はどなたでも傍聴することができ、お気軽にお越しください。

### 本会議を傍聴するには

- ・会議の開始30分前から、西庁舎7階の傍聴受付で先着順に受け付けます。(通常は午前10時開会)
- ・定員は74人です。
- ・車いすの方、難聴の方の席があります(補聴支援システムがあります)。
- ・団体で傍聴される場合は、住所、氏名を記載した名簿をお持ちください。

### 委員会を傍聴するには

- ・会議の開始40分前から20分前まで、西庁舎6階の議会事務局で受け付けます。(通常は午前10時開会)
- ・各委員会の定員は15人です。
- ・傍聴希望者が定員を超えた場合、受付終了後に抽選を行います、傍聴者を決定します。

### 傍聴の際 御注意いただきたいこと

- ・受付時にお渡しする傍聴券の裏面に「傍聴人心得」が記載されていますので、その記載事項を守って傍聴してください。
- ・なお、次のことについては、特に御注意ください。
- ・携帯電話、その他音の発生する情報通信機器は、電源をお切りください。
- ・会議の妨げとならないよう静かに傍聴してください。
- ・写真撮影や録音はできません。

### 会議録を御覧になる方へ

本会議の会議録は、郡山市ウェブサイト、または次の施設で御覧になれます。

- 市政情報センター(市役所西庁舎1階)
- 希望ヶ丘図書館 ● 安積図書館
- 富久山図書館

なお、平成28年9月定例会の会議録が御覧いただけるのは、11月下旬になります。



会議録検索システム QRコード

「こおりやま市議会だより」は、行政センター、公民館、図書館などの公共施設にあります。また、視覚が不自由な方のために「こおりやま市議会だより」の点字版・音声版を発行しています。

## 編集後記

8月に開催した、「安全・安心なまちづくり特別委員会」と「公有資産活用検討特別委員会」による2つの講演会には、多くの市民の皆さんに参加いただき、ありがとうございました。たくさんの御意見、御質問をいただいた講演会の様子を掲載していますので御覧ください。表紙は、10月2日に郡山市民文化センターで行われた市制施行90周年・合併50年記念委嘱作品初演「湯浅讓二 ふるさと郡山への想いよせて」の様子です。本市のフロンティア大使でもある湯浅讓二さんのあつい想いも感じていただければと思います。(山根)